

ゲノム編集技術応用食品についての意見

日本生活協同組合連合会
組織推進本部長
二村 睦子

1. 消費者の不安や懸念について

①技術そのものの確実性や管理に対する懸念

- ・新しい発展途上の技術であることへの不安
- ・安全性は確保されるのか？最悪の場合にどのような事態を招くのか？
- ・知らないうちに管理が甘くなるような状態にならないか？

②急速な変化であることに起因する不安

- ・自然界と比べて速度が急激で不自然
- ・安全など影響を十分に確認しきれぬか？
- ・世に出てから何らかの不具合が明らかになることはないか？

③異なる性質をもつ食品の分別流通・管理について

- ・消費者は正しく区分できるのか？
- ・正しく分別して流通できるのか？
- ・管理が不十分になることでの事故発生の可能性は？

2. 必要だと考えること

①技術そのものが評価され、その利活用の状況が管理されうる状態をつくること

- ・ゲノム編集技術の食品への利活用が消費者に理解される
- ・技術がどこでどのように利用されているか分かる
- ・今後の技術面での進化・発展についても安全性を評価する

②応用食品が評価・管理されている状態をつくること

- ・そのリスクが正しく評価されている
- ・安全性評価方法に納得性がある
- ・評価する手順が適切に踏まれる

③消費者への説明・情報提供

- ・育種技術や動向を含めた情報提供が行われる
- ・技術と応用についてのコミュニケーションが行われる
- ・応用食品の普及状況についての情報が公開される

以上